

【教育目標】

- 1 患者・家族のニーズを把握し、適切に看護過程の展開ができる
- 2 看護を取り巻く社会環境の変化に柔軟に対応できるようリーダーシップ能力を身につける
- 3 常に事象の「何故」を問い、理由や意味・内容を理解し行動できるよう、教育・研究能力を身につける
- 4 組織人として、社会の変化も視野に入れ自分の立場や役割を認識し、責任ある行動がとれる
- 5 医療チームの一員としての役割を認識し、連携と協働を図ることができる

組織の目標・課題に対して「柔軟な発想で問題解決できるリーダー看護師の育成」や「クリニカルラダーレベルに応じた自己の役割課題を見出し解決できるジェネラリストの育成」を目指した研修テーマとする。

また、看護職にとってのやりがい、働くことの意味や価値を見出すことができるような研修方法を考慮する。

	研修名	対象	目的	内容	担当(企画・運営)	日時(予定含む)
オリエンテーション	新採用 転入 復職者 オリエンテーション	新採用者 転入者	釜石病院看護科への早期順応を図る	看護科オリエンテーション 院内案内・看護必要度研修(転入者のみ) 電カル操作訓練	看護科	
		中途採用者・復職者	釜石病院看護科への早期順応を図る (看護師・看護補助者の復職・中途採用者全員に実施)	中途採用者及び転入看護師研修シートに沿った研修	継続教育委員会 看護師長補佐会(看護補助者)	適時(自部署で計画)
実践能力別	新人看護職員研修	新人看護師	「新人看護職員研修ガイドライン」に沿った育成 基礎看護技術等の体験学習を通し、就労に対する不安の軽減とスムーズな職場適応を図る	・コミュニケーション研修(クリニカルコーチと話す) ・マナー研修(接遇・社会人としての心構え) ・シャドウイング研修オリエンテーション ・シャドウイング研修(7日間)(看護補助者業務1日) ・情報管理について(個人情報取り扱い等) ・一次救命処置 ・担架使用方法について (CPRの対応、AEDの取り扱い、急変時の対応、喀痰吸引、救急カートについて) ・夜勤研修(シャドウイング研修) ・受け持ち看護師の役割 ・他部署研修(手術室のみ) 医療局新人技術研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(クリニカルコーチ参加) Ⅰ ・感染防止技術 ・静脈注射、点滴の実践 ・採血法 ・ポンプ機器の取り扱い、他 Ⅱ ・創傷管理技術 ・摂食嚥下ケア(圏域 摂食・嚥下障害看護認定看護師) Ⅲ ・呼吸・循環を整える技術 ・1年の振り返りレポート 1年の看護の振り返りをまとめる	新人担当委員 認定看護師会	全体研修にて実施。(4月中) BLS研修 6/8(集合研修) 各部署で実施 受け持ち看護師の役割研修10/2 手術室と相談の上決定予定 技術Ⅰ 4/20.21(集合研修) 技術Ⅱ 6/22皮膚排泄ケア(集合研修) 6/23摂食嚥下(集合研修) 技術Ⅲ 未定(集合研修) 1年間のまとめ発表会 2/26 (集合研修)
	実地指導者研修 フレッシュパートナー	フレッシュパートナー (卒後3年以上)	実施指導者としての役割を理解し、個々に応じた指導・支援が実践できる	・新人看護師の成長を支援するOJT実行プランの活用 ・講義・演習:臨地指導者に求められる5つの力(Web) ・演習から学ぶ(グループワーク) ・チェックリストの評価 ①到達目標評価表 ②夜勤チェックリスト ・グループワーク (新人育成方法の共有、OJT指導、精神的支援など) ・学研e-ラーニング視聴推奨 (看護教育コース、ナースングメゾット) ・技術研修サポーターとして参加(クリニカルコーチ)	新人担当委員	集合研修 集合研修 5/ 1ヶ月振り返り 7/ 3ヶ月振り返り 9/ 6ヶ月振り返り 2/ 1年間のまとめ発表 (各研修集合研修にて実施予定)
	実地指導者研修 クリニカルコーチ	クリニカルコーチ (レベルⅢ到達者以上)				
	レベルⅠ研修	レベルⅠ未到達者 (卒後2年)		・課題研修:看護過程の展開 ①研修オリエンテーション ②導入講義「患者の全人的理解について」 「受け持ち看護師の役割」 ・他部署応援(手術室以外/PNS3人目)	レベルⅡ担当委員	集合研修 (中間研修GW) 実践報告会(全体)
	レベルⅡ研修	レベルⅠ到達者 (卒後2～5年)		・課題研修:受け持ち患者の看護過程の展開(看護理論の活用) ①研修オリエンテーション(研修の進め方) ②導入講義「看護理論の紹介・活用について」 ③「看護の核となる実践能力」の4つの力について理解する ④ケースレポートの書き方 静脈注射プログラムⅡレベル2	レベルⅡ担当委員	集合研修 (集合研修GW) 実践報告会(全体)
	レベルⅢ研修	レベルⅡ到達者 (卒後4～10年)	＊「臨床看護実践能力別教育プログラム」に沿って、各レベル毎の課題研修を企画 ・看護実践能力については県立病院統一研修	・課題研修(1)受け持ち患者の個別的な看護過程の展開 ①研修オリエンテーション(研修の進め方) ②「看護の核となる実践能力」の4つの力について実践 ③導入講義「個別性を踏まえた全人的理解とアセスメント」 「医療チームにおける看護のリーダーシップについて」 ・課題研修(2)(研究計画書) 看護研究計画書作成・発表 ①講義:看護研究入門(看護研究の目的と意義) 看護研究計画書の作成方法 研究方法(量的研究、質的研究、ビデオ動画視聴、eラーニング等) ②査読及び相談会 ③グループワーク(研修者間で査読)	レベルⅢ担当委員 レベルⅢ研究担当委員	集合研修 6/3 実践報告会 12/18(ケース) 対面オンライン指導(上記同様) 研究発表会 12/22(計画書)

	レベルⅣ研修	レベルⅢ到達者 (卒後7～15年)	「クリニカルラダーレベルⅠ～Ⅴ」 研修計画内容参照 ・クリニカルラダーレベルⅢ～Ⅴ看護 実践能力 の評価は、4つ全ての能 力を習得するまで、事例毎に評価を 行う →レベル総合評価は、年度末に 実施	・課題研修(1) ①研修オリエンテーション(研修の進め方) ②導入講義「退院調整困難事例介入、地域との連携等」 ・課題研修(2)(看護研究実践・発表) ・講義:①論文の書き方 等 ②査読・相談会	レベルⅣ担当委員	集合研修 (集合研修GW) 実践報告 集合研修 進捗確認 実践報告
	レベルⅤ研修 三陸地区看護職員 研修	レベルⅣ到達者 (卒後12年以上) レベルⅢ以上の看護師	ACPを理解し、看護師の役割や基本姿勢を 実践できる	・課題研修 ①研修オリエンテーション(研修の進め方) ②導入講義「地域をつなぐ多職種協働と看護のリーダーシップ」 ※三陸地区看護職員研修実施要項参照 ・講義:「ACPとは」 ・グループワーク	レベルⅤ担当委員 教育専従看護師	集合研修 (集合研修GW) 実践報告 集合研修
看護管理ラ ダー別	マネジメント研修	看護管理者	看護管理者として診療報酬を理解する ことができる	・講義:「勤務表作成ルールについて」 ・OJT 主任看護師:1回以上/年 勤務表作成及び様式9作成と減算の実施 看護師長補佐:2回以上/年 勤務表作成及び 様式9・計算表作成と減算の実施 看護師長:看護師長補佐及び主任看護師の指導	教育専従看護師	集合研修 (参加者以外各部署で録画視聴) OJTで育成
ト ピ ッ ク ス	総看護師長講話	看護職員全員	看護科の方針が理解でき、療養環境を 整えることができる	・総看護師長講話	トピックス担当委員	(集合研修) 参加できない人は録画視聴
	リーダーシップ研修Ⅰ	レベルⅢ到達者以上	自部署の課題解決や目標達成に 取り組みリーダーシップを発揮できる	・講義「問題解決に必要な思考と技法について」 ・OJT	レベルⅣ担当委員	集合研修 (集合研修GW) 実践報告
	リーダーシップ研修Ⅱ	レベルⅣ到達者以上	部署の課題や目標に沿って管理的思考と 行動ができる	・講義「組織管理の基礎知識」 「目標管理の基礎知識」 ・OJT	レベルⅤ担当者	集合研修 (集合研修GW) 実践報告
	ivナース研修段階:2		静脈注射プログラムⅠを受け、技術習得 した看護師が医師の指示に基づき実施 することができる	※静脈注射教育プログラムⅡ(講義)(実技試験)参照		集合研修(講義) 集合研修(実技)
	ivナース研修段階:3 抗癌剤以外	ivナース研修段階:2 を修了した者	静脈注射プログラムⅡを受け、技術習得 した看護師が医師の指示に基づき実施 することができる	※静脈注射教育プログラムⅢ(講義)(実技試験)参照	がん化学療法看護認 定看護師 がん化学療法委員 トピックス担当者	集合研修(講義) 集合研修(実技)
	ivナース研修段階:3 抗癌剤	ivナース研修段階:3 を修了した者	静脈注射プログラムⅡを受け、技術習得 した看護師が医師の指示に基づき実施 することができる	※静脈注射教育プログラムⅣ(講義)(実技試験)参照		集合研修(講義) 集合研修(実技)
	摂食嚥下機能療法研修	レベルⅡ到達者または 卒後6年目以上または NST委員	摂食機能療法について理解し OJTでの指導的役割を発揮できる	講義・実技:摂食療法機能について(基礎編) 講義・実技:摂食療法機能について(応用編) *講師:圏域の摂食・嚥下障害看護認定看護師	NST委員 トピックス担当者	集合研修
	★認定看護師主催研修については 認定看護師年間教育計画参照					
看護補 助者	★看護補助者研修については 看護師長補佐会で企画・運営					